

ヲ是ル

第二百二十六條 選定ニ因ル家督相續人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ選定ヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第二百二十七條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知

タル日ヨリ一个月内ニ診斷書ヲ添附シ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス  
届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 家督相續ノ原因及ヒ相續開始ノ年月日

二 家督相續人カ胎兒ナルコト

三 前戸主ノ氏名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

第二百二十五條第三項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條 前條ノ届出ヲ爲シタル後胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ母ハ一  
个月内ニ醫師又ハ産婆ノ検査書ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

母カ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ分娩ノ事實ヲ知りタル日ヨリ

一个月内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十九條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁  
判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第二百二十五條ノ規定ニ依ル届  
出ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三十條 第二百二十五條及ヒ前三條ノ届出ハ被相續人ノ本籍地ニ於テ之ヲ爲  
スコトヲ要ス

第十二節 推定家督相續人ノ廢除

第三百一十一條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル  
者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要  
ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍

二 廢除ノ原因

戸籍法 届出 推定家督相續人ノ廢除

戸籍法 届出 家督相續人ノ指定

四二

三 裁判確定ノ日

第三十二條 廢除取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ原本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス  
届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍

二 裁判確定ノ日

第十三節 家督相續人ノ指定

第三十三條 家督相續人指定ノ届書ニハ指定セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 家督相續人指定取消ノ届書ニハ指定家督相續人ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十五條 遺言ニ依ル家督相續人ノ指定又ハ指定取消ノ場合ニ於テハ指定又ハ指定取消ニ關スル遺言ノ原本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第三十六條 指定家督相續人カ死亡シタルトキハ指定者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第十四節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第三十七條 民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ家族ト爲ラント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 入籍スヘキ家ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

三 原籍ノ戸主ノ氏名、本籍及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第三十八條 民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ノ家族ト爲サント欲スル者ハ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ前條ニ掲ケタル事項ノ外入籍スヘキ者ノ氏名及ヒ出生ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 戸主カ其家族ヲ離籍セント欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス  
戸籍法 届出 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶 四三

戸籍法 届出 入籍、離婚及ヒ復籍拒絶

四四

シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 離籍セラルヘキ者ノ氏名

二 離籍ノ原因

第四百十條 離籍ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日

内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 離籍者ノ氏名及ヒ本籍

二 離籍者ト離籍セラレタル者トノ續柄

三 離籍ノ原因及ヒ年月日

第四百十一條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ事項

ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名及ヒ本籍

二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名

三 復籍拒絶ノ原因

第四百十二條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ一家ヲ創立シタル者

カ縁組若クハ婚姻ノ取消又ハ離婚若クハ離婚ノ届書ニ其場所ヲ記載セザリシ

トキハ一家創立ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 復籍拒絶者又ハ廢絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 復籍拒絶ノ原因及ヒ年月日又ハ廢絶ノ年月日

第十五節 廢家及ヒ絶家

第四百十三條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ其者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ

本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但家督相繼ニ因リテ戸主ト

爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第四百十四條 絶家ノ家族ハ絶家ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ一家創立ノ

届出ヲ爲スコトヲ要ス

戸籍法 届出 廢家及ヒ絶家

四五

戸籍法 届出 分家及ヒ廢絶家再興

四六

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 絶家ノ原因及ヒ年月日

第十六節 分家及ヒ廢絶家再興

第四百四十五條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 本家ノ戸主ノ氏名、本籍及ヒ其戸主ト分家ノ戸主トノ續柄

二 民法第七百四十三條第二項ノ規定ニ依リ分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其氏名及ヒ出生ノ年月日

三 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ本籍

第四百四十六條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 廢絶ノ年月日

三 廢絶家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄

四 再興ヲ爲ス者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

第十七節 國籍ノ得喪

第四百四十七條 外國人カ養子縁組又ハ婚姻ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキト

キハ縁組又ハ婚姻ノ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百四十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知ノ届

書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

認知者カ父ナルトキハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百四十九條 歸化ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 歸化ヲ爲シタル者ノ原國籍

二 父母ノ氏名及ヒ本籍

戸籍法 届出 國籍ノ得喪

四七

三 許可ノ年月日

四 歸化ヲ爲シタル者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其氏名出生ノ年月日及ヒ其者ト歸化人トノ續柄

歸化ヲ爲シタル者ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セザルトキハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十條 國籍喪失ノ届出ハ戸主又ハ家督相續人共事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 國籍喪失者ノ氏名及ヒ本籍

二 國籍喪失ノ原因及ヒ年月日

三 新ニ國籍ヲ取得シタルトキハ其國籍

第五十一條 國籍喪失者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ其者カ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナキコトヲ證スヘキ書面ヲ届書ニ添附

スルコトヲ要ス

國籍喪失者カ日本ノ官職ヲ帶ヒタル者ナルトキハ其官職ヲ失ヒタルコトヲ證スヘキ書面ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第五十二條 國籍回復ノ届書ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日

二 國籍回復前ニ有セシ國籍

三 許可ノ年月日

四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキハ其氏名、出生ノ年月日及ヒ其者ト國籍回復者トノ續柄

第五十三條 第三項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第十八節 氏名、族稱ノ變更及ヒ襲爵

第五十三條 氏名變更ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

戸籍法 届出 氏名、族稱ノ變更及ヒ襲爵

戸籍法 届出 氏名、族稱ノ變更及ヒ襲爵

五〇

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 變更前ノ氏名
- 二 變更シタル氏名
- 三 許可ノ年月日

第二百五十四條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ士族ニ編入セラレタル者ハ十日内ニ辭令書又ハ許可書ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 新舊族稱
- 二 族稱變更ノ原因
- 三 辭令又ハ許可ノ年月日

第二百五十五條 爵ヲ襲キタル者ハ辭令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ其謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ハ辭令ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百五十六條 華族又ハ士族ノ族稱ヲ喪失シタル場合ニ於テハ戸主ハ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ族稱喪失ノ原因及ヒ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十七條 前條ノ規定ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ喪失シタル場合ニハ之ヲ適用セス此場合ニ於テハ裁判所ハ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第十九節 轉籍及ヒ就籍

第二百五十八條 轉籍セント欲スルトキハ新本籍ヲ届書ニ記載シ戸主其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

他ノ市町村ニ轉籍スル場合ニ於テハ戸籍ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第二百五十九條 轉籍ノ届出ハ轉籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六十條 本籍ヲ有セサル者ハ其就籍セント欲スル地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ十日内ニ就籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

戸籍法 届出 轉籍及ヒ就籍

五一

戸籍法 戸籍ノ訂正

五二

届書ニハ第十八條ニ掲ケタル事項ノ外就籍許可ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六十一條 就籍ノ届出ハ就籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十二條 就籍許可ノ裁判ヲ得タル者カ就籍ノ届出ヲ爲ササルトキハ戸主之ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十三條 第百六十條ノ規定ハ確定判決ニ因リテ就籍ノ届出ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ判決ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第五章 戸籍ノ訂正

第百六十四條 戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其記載ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ利害關係人ハ其戸籍ノ存スル市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

第百六十五條 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ付キ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後

其行爲ノ無効ナルコトヲ發見シタルトキハ届出人又ハ届出事件ノ本人ハ前條ノ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

第百六十六條 前二條ノ許可ノ裁判アリタルトキハ一个月内ニ其謄本ヲ添附シ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第百六十七條 確定判決ニ因リ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキトキハ訴ヲ提起シタル者ハ判決確定ノ日ヨリ一个月内ニ判決ノ謄本ヲ添附シ訂正ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ判決確定ノ後遲滞ナク戸籍ノ訂正ヲ請求スルコトヲ要ス

第百六十八條 第四十三條、第四十六條乃至第五十條、第五十二條乃至第五十九條及第六十三條乃至第六十八條ノ規定ハ戸籍訂正ノ申請ニ之ヲ準用ス

第六章 抗告

第百六十九條 戸籍事件ニ付キ市町村長ノ處分ヲ不當トスル者ハ市役所又ハ町戸籍法 抗告

五三

戸籍法 抗告

五四

村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ提出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ關係書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第七十一條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ市町村長ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第七十二條 市町村長ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ書類ヲ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第七十三條 裁判所ハ抗告理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ理由アリトスルトキハ市町村長ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ市町村長及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第七十四條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り非訟事件手續法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十五條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十六條 正當ノ理由ナクシテ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

第七十七條 第六十四條ノ規定ニ依リ市町村長カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス

第七十八條 市町村長ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處ス

一 正當ノ理由ナクシテ届出又ハ申請ヲ受理セザルトキ

二 戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

戸籍法 罰則

五五



戸籍法 罰則 附則

五六

三 正當ノ理由ナクシテ戸籍簿、除籍簿又ハ第三十六條ノ書類ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

四 正當ノ理由ナクシテ戸籍若クハ除カレタル戸籍ノ謄本、抄本又ハ第六十七條ノ證明書ヲ交付セサルトキ

五 其他戸籍事件ニ付キ職務ヲ怠リタルトキ

第七十九條 過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第八十條 戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者亦同シ

附則

第八十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第八十三條 本法ノ規定ハ本法施行前ノ届出其他ノ事由ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第八十四條 舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ本法ノ規定ニ依ル戸籍トシテ其效力ヲ有ス但本法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ニ記載ナキモノハ身分登記ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得

司法大臣ハ前項ノ規定ニ拘ハラズ本法ノ規定ニ依リ戸籍ヲ改製スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第八十五條 舊法ノ規定ニ依リテ改製セサリシ戸籍ハ司法大臣ノ命スル所ニ依リ本法ノ規定ニ依リテ之ヲ改製スルコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ従前ノ戸籍ニ依リ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

第八十六條 身分登記簿及ヒ舊法ニ保存期間ノ定アル帳簿並ニ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

●改寄留法 (大正三年三月三十日法律第二十七號)

(大正三年六月十六日勅令第百二十一號ヲ以テ大正四年一月一日ヨリ施行ス)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル寄留法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

寄留法

第一條 九十日以上本籍外ニ於テ一定ノ場所ニ住所又ハ居所ヲ有スル者ハ之ヲ

寄留者トス本籍ナキ者本籍分明ナラサル者及日本ノ國籍ヲ有セサル者ニシテ

九十日以上一定ノ場所ニ居住スルモノ亦同シ

寄留ニ關スル事項ハ届出ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ寄留簿ニ記載スルコトヲ

要ス

第二條 寄留ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

戶籍法第三條、第五條及第六條ノ規定ハ寄留ニ關スル事務ニ之ヲ準用ス

第三條 寄留ニ關スル届出、届出義務者、届出期間、寄留簿其ノ他寄留ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 寄留ニ關スル届出ヲ怠リタル者ハ五圓以下ノ過料ニ處ス

戶籍法第七十九條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

人事法令年次索引

- 一 華族(元武家)東京府實屬タルヘキ件  
明治四年二月太政官布告第八十六號
- 一 舊戶籍法  
明治四年四月太政官布告
- 一 寄留者ノ事  
明治四年四月四日太政官布告第七十號
- 一 華族以下平民互ニ婚姻差許ノ件  
明治四年八月二十三日布告
- 一 華士族ノ子弟民籍ニ加入ヲ許ス件  
明治五年四月五日布告第百十五號
- 一 從來通稱名乘兩用相用タルモ一人一名ト爲スノ件  
明治五年五月七日布告第百四十九號
- 一 世襲ノ卒ハ士族ニ編入ス  
明治五年正月二十九日太政官布告第二十九號
- 一 郷士家筋由緒アル者ハ士族ニ入籍ノ件  
明治五年二月十四日太政官布告第四十四號
- 一 氏名改稱ハ管轄廳ニ出願方ノ件  
明治五年八月二十四日太政官布告第二百三十五號
- 一 妻妾ニ非サル婦女ノ分娩セシ兒子ヲ一切私生ヲ以テ論スヘキ件  
同日同布告第二百三十六號
- 一 華士族相續法  
明治六年一月十八日布告第二十一號
- 一 華士族平民互ニ養子取組差許ノ件  
明治六年一月二十二日布告第二十八號
- 一 日本人外國人婚姻ノ件  
明治六年一月二十二日布告第二十七號
- 一 御歴代御諱及御名ノ文字人民一般ニ用フルヲ許ス件但熟字ノ儘使用禁止ノ事  
明治六年三月十四日布告第百三號
- 明治六年三月二十八日布告第百十八號

- 一 婦ニ於テ離婚ノ訴出ヲ爲ス件 明治六年五月十五日布告第百六十二號
- 一 失踪者年齢八十歳以上ニ達スルトキハ除籍ノ件 明治六年五月二十八日太政官達第百七十七號
- 一 男女兩戸主結婚合家願出ツトキハ差許ス件 明治六年八月十三日布告第三百一號
- 一 華士族分家ノ者ハ平民籍ニ編入ノ件 明治七年七月太政官布告第七十三號
- 一 僧侶族籍編入ノ件 明治七年七月十日布告第七十四號
- 一 平民自今必苗字ヲ唱ヘシム 明治八年二月太政官布告第二十二號
- 一 僧尼ノ輩現在地ヘ定籍心得方 明治八年十一月十七日內務省達乙第百五十一號
- 一 婚姻養子縁組離婚縁籍ニ登記セサル内ハ其效力ナキノ件 明治八年十二月九日太政官達第百九號
- 一 滿二十年ヲ成年ト定ムル件 明治九年四月一日布告第四十一號
- 一 合家ヲ禁シ從前合家セシ者分家其他取扱方ノ件 明治九年五月二十日布告第七十五號
- 一 子女アル者養子入夫等ヲ以テ相續人ト爲スヲ許ス件 明治九年六月太政官達第五十八號
- 一 婚姻養子縁組離婚縁籍ニ登記セサル者有效ノ件 明治十年十月二十八日同第九十九號
- 一 士族家督相續養子貫籍替届出方ノ件 明治十年六月十九日司法省達丁第四十六號
- 一 戸主死亡後相續人届出ナキトキハ族稱廢絶ノ件 明治十二年二月十三日太政官達第八號
- 一 單身戸主死亡又ハ除籍ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ跡相續者ヲ届出サルモノハ絶家ト爲スノ件 明治十三年一月二十九日太政官布告第三號、明治三十九年一月二十四日司法省民利第四號民利局長通牒
- 一 寄留者届出方 明治十七年六月十日布告第二十號
- 明治十九年九月二十八日內務省令第十九號

- 一 舊戶籍登記書式 明治十九年十月十六日內務省訓令第二十號
- 一 舊戶籍簿副本及ヒ諸届保存ノ件 明治十九年十月十六日內務省訓令第二十一號
- 一 舊戶籍取扱手續 明治十九年十月十六日內務省訓令第二十二號
- 一 寄留取扱手續 明治十九年十月十六日內務省令第二十二號
- 一 寄留登記書式 同月內務省令第二十號
- 一 寄留届書類取扱方 同月內務省令第二十二號
- 一 養子實子ト相續權ノ件 明治二十年三月二日司法省指令
- 一 華族貫屬替願出方ノ件 明治二十年十月宮内省達第五號
- 一 憲法 明治二十二年二月十一日公布
- 一 皇室典範 明治二十二年二月十一日公布
- 一 華族ノ寄留届出ノ件 明治二十二年五月宮内省達第八號
- 一 裁判所構成法(司法行政職務及監督權) 明治二十三年二月法律第六號
- 一 民事訴訟用印紙法 明治二十三年八月法律第六十五號
- 一 海軍軍人結婚願出手續 明治二十五年十月海軍省訓令第二號改正
- 一 民法第一編總則 明治三十三年二月訓令第一號
- 一 寄留届寄留者復歸届取扱方 明治二十九年四月法律第八十九號
- 一 北海道ニ於ケル寄留届寄留者復歸届取扱方 明治二十九年六月內務省令第四號
- 一 華族戶籍ニ關シ願出省略ノ件 明治二十九年七月拓殖務省訓令第十一號
- 明治二十九年十月宮内省達乙第三號
- 明治三十一年七月達乙第一號ヲ以テ改正

- 一 華族戶籍ノ異動届出ノ件  
明治二十九年十月宮内省達乙第四號
- 一 民法第四編親族第五編相續  
明治三十一年六月法律第九號
- 一 法例  
明治三十一年 月十日法律第十號
- 一 民法施行法  
明治三十一年六月法律第十一號
- 一 戶籍法  
明治三十一年六月法律第十二號
- 一 人事訴訟手續法  
明治三十一年六月十五日法律第十三號
- 一 非訟事件手續法  
明治三十一年六月法律第十四號
- 一 民法法例戶籍法明治三十一年七月十六日ヨリ施行ノ件  
明治三十一年六月勅令第二百二十三號
- 一 戶籍法施行ニ付戶籍ニ關スル諸届續及戶籍副本引續ノ件  
明治三十一年七月七日内務省令第十七號
- 一 外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スノ件  
明治三十一年七月九日司法省訓令第三號
- 一 人事訴訟手續法第一條第三項ノ場合ニ於テハ東京ヲ住所地ニ指定ノ件  
明治三十一年七月九日法律第二十一號
- 一 人事訴訟手續法第三條ニ依リ爲スヘキ公告方法  
明治三十一年七月八日司法省令第八號
- 一 東京京都大阪名古屋市ノ各區ニ於テハ區長ヲ以テ戶籍吏トナス件  
明治三十一年七月八日司法省令第九號
- 一 戶籍法ニ依リ納付スヘキ手数料ノ件  
明治三十一年七月十二日司法省令第十二號
- 一 戶籍法取扱手續  
明治四十一年三月司法省令第七號四月一日ヨリ施行
- 一 華族家督相續發爵出願ノ件  
明治三十一年七月十三日司法省訓令第五號
- 一 華族家督相續發爵出願ノ件  
明治三十一年七月宮内省達甲第四號

- 一 法例ヲ臺灣ニ施行スル件  
明治三十一年七月勅令第六十一號
- 一 處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル場合ニ於ケル報告ノ件  
明治三十一年八月十二日司法省訓令第六號
- 一 外國人ノ署名捺印(法令ノ規定ニ依リ署名捺印ニ要スルトキハ署名ヌルヲ以テ是ル捺印ノミ爲ストキハ署名ヲ以テ捺印ニ代フ)及無資力證明ニ關スル件  
明治三十二年三月十日法律第五十號
- 一 國籍法  
明治三十二年三月十五日法律第六十六號
- 一 國籍喪失者ノ權利ニ關スル件  
明治三十二年三月二十八日法律第九十四號
- 一 臺灣ニ於ケル同上ノ件  
明治三十二年六月律令第十三號
- 一 國籍法及國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律等ヲ臺灣ニ旅行スル件  
明治三十二年六月勅令第二百八十九號
- 一 外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續(第三條第二項ニ於テ戶籍吏カ外國人ノ死亡登記ヲ爲シタルトキハ其原本ヲ所轄區裁判所ニ送付スヘキコトヲ定ム)  
明治三十二年七月八日司法省令第四十號
- 一 明治三十二年内務省令第三十二號ニ依リ警察官署ノ登録シタル事項ヲ戶籍吏ニ通知ノ件  
明治三十二年七月十三日內務省訓令第二十五號
- 一 宿泊届其他ニ關スル件(第六條ニ於テ戶籍吏外國人ノ身分登記ヲ爲シタル場合及外國人ノ身分届書ニ關スル事ヲ規定ス)  
明治三十二年七月内務大臣訓令
- 一 臺灣ニ寄留スル内地人ノ寄留及ヒ出產死亡等ニ關スル届出方  
明治三十二年八月四日臺灣總督府令第八十八號
- 一 外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲シ及ヒ歸化又ハ國籍ヲ回復セントスル者ノ出願手續ノ件

- 一身分登記又ハ戸籍ノ謄本抄本ヲ外國官廳ニ提出スル戸籍吏ノ印章ノ證明ハ監督區裁判所ニ於テ爲スノ件  
明治三十二年十月司法省民刑廳長通牒
- 一民法第七拾九條及第千八拾壹條ノ規定ニ依リ遺言ノ確認ニ關スル件  
明治三十三年法律第十三號
- 一教育所ニ在ル孤兒ノ後見ノ職務ハ公設ノ教育所ニアリテハ其所長私設ノ教育所ニ於テハ地方長官ノ指定シタル者之ヲ行フノ件  
明治三十三年三月法律第五十一號
- 一教育所ニアル棄兒迷兒遺兒等ノ後見ニ關シテハ明治三十三年法律第五十一號ノ規定ヲ準用スルノ件  
明治三十三年三月內務省令第十一號
- 一教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル特例  
明治三十三年四月勅令第四百十四號
- 一外國ニ於テ婚姻ヲ爲ストキ證明書ニ關スル件  
明治三十二年七月十六日司法省令第二十五號
- 一皇室婚嫁令  
明治三十三年九月二十五日公布
- 一死亡者ノ財産保護ニ關スル日英條約  
明治三十三年十一月勅令、明治三十四年九月二日外務省告示第二十號、明治三十五年二月十八日外務省告示第三號、明治三十六年七月三日同第五號
- 一相続人曠缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財産ノ引渡ニ關スル件  
明治三十二年十二月勅令第四百九號
- 一月籍役場ノ名稱變更廢合等ノ場合報告ノ件  
明治三十四年一月農商務省令第一號
- 一民法第七百四十三條改正ノ件  
明治三十五年四月法律第三十七號

- 一皇室誕生令  
明治三十五年五月二十九日公布
- 一身分登記戸籍及寄留ニ關スル書類保存規定  
明治三十五年七月二十四日司法省令第二十一號
- 一身分登記戸籍及寄留ニ關スル書類保存ニ付注意書  
明治三十五年七月司法省總務長官通牒
- 一外國ニ在留スル帝國臣民ノ戸籍並ニ身分ニ關スル届書中訂正ヲ要スル等ノ場合ニ於テハ自今直接公使又ハ領事ニ照會スヘキノ件  
明治三十五年七月司法省民刑第五八七號訓令
- 一月籍並ニ身分ニ關スル届書中訂正ヲ要スルトキ在外公使又ハ領事宛發送スル書面ノ封筒ニ記載スヘキ文字ノ件  
明治三十五年七月司法省民刑第五八七號訓令
- 一陸軍士官候補生幼年學校生徒ノ志願書ニ添付スル戸籍謄本又ハ抄本ニ關スル件  
明治三十五年七月司法省民刑第八二八號總務長官通牒
- 一海軍々人結婚條例  
明治三十七年七月司法省民刑第七七六號訓令
- 一年齡ハ出生ノ日ヨリ之ヲ起算シ民法第四百十三條ヲ準用スル件  
明治三十五年十二月法律第五十號
- 一外國人カ戸籍法ノ規定ニ依リ身分ニ關スル届出ヲ爲シタルトキハ外國人ノ氏名ヲ片假名ニテ記載シタル左側ニ外國ノ文字ヲ謄寫スヘキノ件  
明治三十五年十二月司法省民刑第一一六三號訓令
- 一年齡計算法臺灣ニ施行スルノ件  
明治三十六年二月十四日勅令第十四號
- 一外國人カ戸籍法ノ規定ニ依リ身分ニ關スル届出ヲ爲シタルトキハ外國人ノ利益ヲ保護スル爲片假名ノ外羅甸文字ヲ記載セシムルノ件  
明治三十六年二月司法省四刑第一〇〇號民刑局長通牒
- 一月籍法ノ規定ニ依リ身分又ハ戸籍ニ關スル届書ニ複寫版若クハ蒞蒞版ヲ以テ謄寫シタル書面ハ届出人ヘ



- 一 華族令施行規則
  - 一 種痘法
  - 一 種痘法施行規則
  - 一 種痘法第八條ニヨリ戸籍簿ノ欄外ニ記入スヘキ符號ノ件
  - 一 朝鮮人姓名改稱ニ關スル件
  - 一 民籍簿ノ閱覽其他ニ關スル件
  - 一 戶籍法
  - 一 寄留法
  - 一 戶籍手帳料規則
  - 一 戶籍法施行細則
  - 一 寄留手續令
  - 一 寄留手續細則
- 明治四十年五月八日宮内省令第三號  
 明治四十二年四月法律第三十五號  
 明治四十二年十二月内務省令第二十六號  
 明治四十二年十二月司法省令第二十二號  
 明治四十四年十月二十六日朝鮮總督府令第二百二十四號  
 明治四十四年十二月六日朝鮮總督府令第四百四十八號  
 大正三年三月三十日法律第二十六號  
 大正三年三月三十日法律第二十七號  
 大正三年九月四日勅令第八十三號  
 大正三年十月三日司法省令第七號  
 大正三年十月二十七日勅令第二百二十六號  
 大正三年十月二十九日司法省令第十號

附錄終

法學士 鈴木英助先生 辯護士 川崎崔次先生  
 判事 増山外三郎先生 辯護士 山川瓊次先生 校閱

人事法書式便覽完

分冊 上 四六版三三〇頁 上製金七拾五錢  
 分冊 下 四六版三二〇頁 上製金四拾五錢  
 並製金六拾錢 並製金五拾錢  
 郵稅共 郵稅共

◎本書は戸籍に關する届出及び申請並に裁判所に對する申立並に申請書式等貳百數拾種を類集し各場合に適應すべく一切の書式は殆んど之を網羅したりと雖も唯に之のみに止まらず其内容は戸籍法の章節の分類に從ひ各届出事件に付き一々其意義、要件、效力並に届出期間、届出の管轄、届出義務者及び届書の要件等況く人事に關する法令に付き平易且つ明瞭に説明を加へたるものなれば如何なる難解の事件と雖も容易に了解し得べく職を戸籍事務に従事するの士に於ては蓋し好々の羅針盤たるは勿論、一般の家庭に於ても亦缺くべからざる良書なるを疑はず之れ本會が選み本會に採りたる所以なり

發行所

東京市麻布區三河臺町十三番地  
 振替東京 貳八 參參 五番  
 東京 豊 座  
 東京神田一ツ橋通  
 東京神田錦町  
 東京神田今川小路

日本法令學會  
 東有海運書  
 清水



68  
626

發行所  
賣捌所

東京市麻布區三河臺町十三番地  
振替東京八參參五番  
東京 銀座 座  
東京神田一ツ橋通  
東京神田錦町  
東京神田今川小路

東有奎清  
海斐運水  
會學令法日本  
堂閣店

不許複製

印之名著

著者  
發行所  
印刷者  
印刷所

東京市麻布區六本木町五番地  
五島常次郎  
東京市麻布區三河臺町十三番地  
日本法令學會代售  
木村宗三郎  
東京市麻布區三河臺町十三番地  
東京市麻布區三河臺町十三番地  
東京市麻布區三河臺町十三番地  
東京市麻布區三河臺町十三番地

大正四年二月十三日印刷  
大正四年二月十六日發行

定價金八拾錢

改正 戶籍法提要 完

法學士 鈴木英助先生 校閱  
辯護士 川崎崔次先生

△近刊

四六頁版  
三六拾錢  
定價金八拾錢  
郵稅共

◎本書は戸籍法の内容に従ひ逐次各條に付き親切丁寧に説明を與へ各條下の疑義に付ては一々之を指摘し直截明確に解説し文章亦た平易なれば職を其運用に任すと否とを問す誠に萬民必要の書籍なりとす

發行所  
賣捌所

東京市麻布區三河臺町十三番地  
振替東京八參參五番  
東京 銀座 座  
東京神田一ツ橋通  
東京神田錦町  
東京神田今川小路

東有奎清  
海斐運水  
會學令法日本  
堂閣店

68

626

大正四年二月十三日印刷  
大正四年二月十六日發行

不許複製

印之名著

發行所  
賣捌所

東京市麻布區三河臺町十三番地  
振替東京貳八參參五番  
東京 銀座  
東京神田一ツ橋通  
東京神田錦町  
東京神田今川小路

東有堂  
清水運書  
日本法令學會

著者  
發行者  
印刷者  
印刷所

東京市麻布區六本木町五番地  
五島常次郎  
東京市麻布區三河臺町十三番地  
日本法令學會代表者  
木村宗三郎  
東京市麴町區紀尾井町三番地  
金澤求也  
東京市麴町區紀尾井町三番地  
元真社

定價金八拾錢

後籍法提要

法學士鈴木英助先生校閱  
編譯士川崎龍次先生校閱

近刊

發行所  
賣捌所

東京市麻布區三河臺町十三番地  
振替東京貳八參參五番  
東京 銀座  
東京神田一ツ橋通  
東京神田錦町  
東京神田今川小路

東有堂  
清水運書  
日本法令學會  
店堂閣堂

本書は戶籍法の概要を述べ、各條を註釋し、適用の點を明瞭に説明する。各條下に註釋を付し、之を指して直載の條に附註し、文章亦た平易なり。此書は適用上必ず必要にして、法律家及び一般市民の参考として、各處に發行せらるべし。

9C-7



終

